

令和7年度 2年生

久御山高校

シラバス

【科目案内と学習内容】

京都府立久御山高等学校

令和7年度 2年生シラバス

目 次

国語科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-01
地歴・公民科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-04
数学科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-08
理 科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-12
保健体育科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-16
芸術科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-20
英語科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-23
家庭科	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-26
総合的な探究の時間	・・・・・・・・・・・・・・・・	2-27

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-03	国語	古典探究	2	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

- 1年次の学習内容を踏まえ、古典作品の学習を通して知識や理解を深めるだけでなく文化的社会的背景などに目を向け、より深い学びにつなげていく。
- 上代から近世の作品に触れることで豊かな感性や情緒を育てる。

学習目標

- 作品理解や内容理解だけではなく、文法、句法などを理解し応用することによって、より高い知識、理解を深める。
- 作品そのものだけでなく、その背景となる事柄にも目を向け日本語文化を担うことができるようになる。

学習方法

使用教科書【東京書籍701 新編古典探究】

- 予習では、本文の通読だけでなく語句や文法事項を調べておく。
- 自分で現代語訳ができるように重要事項の理解だけでなく、実践するように努めること。

評価方法

知識・技能 50 % : 定期考査、小テスト等により評価する。

思考・判断・表現 30 % : 定期考査、学習課題等により評価する。

主体的に学習に取り組む態度 20 % : 授業プリントやノート、課題等の提出、振り返りシートへの取り組み状況によって評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施/時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																				
古文編	説話	/				■	■	■	■				/	/	/										/	/	/								/	/	/		
	文法	/	■	■	■	■	■	■	■				/	/	/				■	■					■	■	/	/	/							/	/	/	
	歌物語	/											/	/	/									■	■	■	■	/	/	/							/	/	/
	日記	/											/	/	/											/	/	/	■	■	■	■	■				/	/	/
漢文編	史伝	/										■	■	/	/	/			■	■	■					/	/	/								/	/	/	

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-05	地理歴史	歴史総合	2	P	2	必修

何を学ぶか

- ① 近代史・近現代史を中心に世界と日本の歴史を学ぶ。
- ② 「近代化」の時代を学ぶことにより国家の成り立ちを学ぶ。
- ③ 「国際秩序の変化や大衆化」について学ぶことで二度の世界大戦の展開・結果について学ぶ。
- ④ 「グローバル化」という視点から現代の世界規模の諸問題について学ぶ。

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

学習方法

使用教科書【山川出版707 歴史総合 近代から現代へ】

- ① 教科書に沿いながら学習を進め、授業に関連する出来事に関心を持つ。
- ② テーマに沿ってグループ学習や討論を行う。

評価方法

知識・技能 35% : 定期考査、小テスト等により評価する。

思考・判断・表現 40% : 定期考査、小テスト等により評価する。

主体的に学習に取り組む態度 25% : 各種課題、振り返りシートへの取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
近代化と私たち	結びつく世界	■	■																																		
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立				■	■																															
	明治維新～帝国主義							■	■	■	■																										
国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会																																				
	経済危機と第二次世界大戦																																				
	戦後の国際秩序と日本の改革																																				
グローバル化と私たち	冷戦と世界経済																																				
	グローバル化する世界、現代の課題																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-19	保健体育	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ	2	P	4	必修

何を学ぶか

- ① 自学・自律・自鍛の久御山高校の教育方針を踏まえて、生徒自らの自主性・主体性を培う。
- ② 生涯スポーツの観点から、計画的に運動を実践できる能力を養う。
- ③ 科学的根拠に基づいた運動実践により、自らの健康の増進と体力の向上ならびに精神面の強化を図る。

学習目標

・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

学習方法

使用教科書【大修館701 現代高等保健体育】

・スポーツ総合専攻1、2、3年生を専攻種目ごとの縦割り集団として、実戦的でレベルの高い専攻種目の授業を行う。

評価方法

知識・技能 40% : 基礎的な個人技能の実技テスト・自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

思考・判断・表現 30% : ゲームや記録会などの応用技能、自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

主体的に学習に取り組む態度 30% : 自己評価用紙、各課題の取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施/時期を示す

科目/領域	単元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
スポーツ ⅠⅡⅢ	剣道(男・女)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	バスケットボール(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	バレーボール(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	陸上競技(男・女)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	硬式野球(男子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	サッカー(男子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	ソフトテニス(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-21	芸術	美術Ⅱ	2	S・P	2	選択

何を学ぶか

- ・表現力・基礎：・演習 『レタリング・基礎』（書体：明朝体、ゴシック体）。
- ・平面表現：・グラフィックデザイン 『本の装丁』 自分のお気に入りの一冊を選定し、自分なりの表現で装丁する。
- ・絵画 『空想の世界』 自由な発想で自分だけの世界や意図（構図や色彩の効果を活用）を平面手法（水彩画）で表現する。
- ・鑑賞：・過去の著名な作家や職人、諸先輩の作品やサービスなどから美的感覚、表現手法、表現意図と効果を学ぶ。

学習目標

- ・色んな印刷物には様々な書体が使われていることを知り、それらが様々な効果を生むように工夫されていることを知る。
- ・モノ（今課題では書籍）の価値や魅力を文字（書体）や平面表現によって第三者に伝える力を養う。
- ・与えられた課題の範囲内で、幅広く着原点を広げ、自由な発想をし、自ら見出した主題＝『意図』を具現化する力を養う。
- ・各作品や商品、サービスなどに込められた意図・効果を学び、自己の美的感覚や表現の幅を広げ、作品完成度の向上を図る。

学習方法

使用教科書【日本文教出版702 高校生の美術2】

- ・表現力・基礎：・演習 『レタリング』（自分の名前から）＝氏名の名の一字目を明朝体とゴシック体で描く。
- ・平面表現：・グラフィックデザイン 『本の装丁』 自分が選定したお気に入りの本を自分だけの表現で、レタリングの技術も活用して装丁する。
- ・絵画 『空想の世界』 自由な発想で自分だけの世界を表現する。（具体的なテーマは別途指示）
- ・鑑賞：・各分野の著名な作家や職人、諸先輩の作品や商品、提案物やサービスなどを教科書や資料画像を通して接する。

評価方法

- 知識・技能 35% : ・基本的な表現技能を習得し、課題に応じた表現で丁寧に（完成度高く）仕上げられたか。
- 思考・判断・表現 35% : ・課題を理解し、自ら主題を見つけ、自己の感性を働かせ、自分の意図した作品を完成するために最適な表現を創意工夫したか。
- 主体的に学習に取り組む態度 30% : ・素直な気持ちで様々な作品に接したり、創作に生かしたり、多様な文化への理解を深められたか。
- ・主体的に知識、および技能、表現力を身につけることに努めたか。
- ・課題制作に対して、困難な状況に直面しても決してあきらめず粘り強く取り組めたか。
- ・すべての作品を完成させて提出することを原則とする。
- ・出欠遅刻過多や授業態度について、点数化はしないが評価をする上での対象項目とする。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																			
美術Ⅱ	表現力・基礎	■	■	■																																		
	デザイン																																					
	絵画																																					
	鑑賞																																					

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
2-26	家庭	家庭基礎	2	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

家庭生活で必要な知識や技術を身につけるとともに、暮らしと社会の課題を結び付けて考え、新しい価値観や行動を生み出すことを目指して学習します。

学習目標

家庭科の学習は、SDGsの各目標と密接に結び付いている。家庭科の学習を通して、生活のあらゆる場面を見つめ直し、主体者としてよりよい意思決定をして、持続可能な社会を構築する力を養います。

学習方法

使用教科書【東京書籍701 家庭基礎 自立・共生・創造】

- ①授業の前に教科書に目を通して予習しておきましょう。
- ②毎時間ワークシートを記入し、ファイルに閉じて整理しておきましょう。
- ③被服実習や調理実習にも積極的に取り組み、理論を実践に結び付けて日常生活に活かしましょう。
- ④日常的に新聞や本、テレビ、インターネット等から情報を入手し、疑問を持った内容を調べ、周囲の人に提案したりしていきましょう。

評価方法

知識・技能 40 % : ・定期考査 ・被服実習(実技試験)

思考・判断・表現 30 % : ・定期考査 ・課題学習(夏休みの宿題) ・被服実習(作品点)

主体的に学習に取り組む態度 30 % : ・加点課題への取り組み ・提出物

授業予定

「▼」は定期考査の実施/時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
家族・社会との共生	生涯を見通す	▼	■	■									▼	▼	▼																						
	人生をつくる	▼			■	■	■	■	■					▼	▼	▼																					
	子どもと共に育つ	▼												▼	▼	▼																					
生活の自立	衣生活をつくる	▼																																			
	食生活をつくる	▼																																			
	住生活をつくる	▼																																			

